

CipherTrust Tokenization for SAP

データ保護を統合してSAPアプリケーションエコシステムの導入を促進



主なメリット:

- SAPアーキテクチャやソースコードを変更することなくデータをセキュリティで保護します。
- フィールドレベルのセキュリティにより、プライベートデータがデータベースに書き込まれる前にデータを保護します。
- データはデータベースに書き込まれる前に保護されるため、データベースのアクセス制御が容易になります。
- クラウド内の機密データ (PII、PCIなど) を特権ユーザーのリスクから保護します。
- トークン化された本番データを使用することで、開発環境をセキュリティで保護し、コンプライアンスを維持します。

ビジネス課題

今日の先進的な企業は、アプリケーションによって定義されます。企業のアイデンティティのあらゆる側面が、多種多様なアプリケーションによってどのようにデータのアクセス、分析、利用、共有が行われるかによって定義されています。人事から財務、エンジニアリングに至るまで、通常の営業日には数百の異なるアプリケーションが動作していますが、その中心には多くの場合、SAPのポートフォリオがあります。ビジネスのつながりを世界規模のコミュニティに変えるというSAPの目標は、これらのアプリケーションが組織内だけでなく企業や地理的な境界を越えて連携し動作する方法を、さらに絡み合わせることとなります。こうしたアプリケーションのパブリッククラウドへの移行が進んでいると

いうことは、機密データが送受信される場所の境界が、主要な企業データセンターの壁を越えて大幅に拡大していることを意味します。

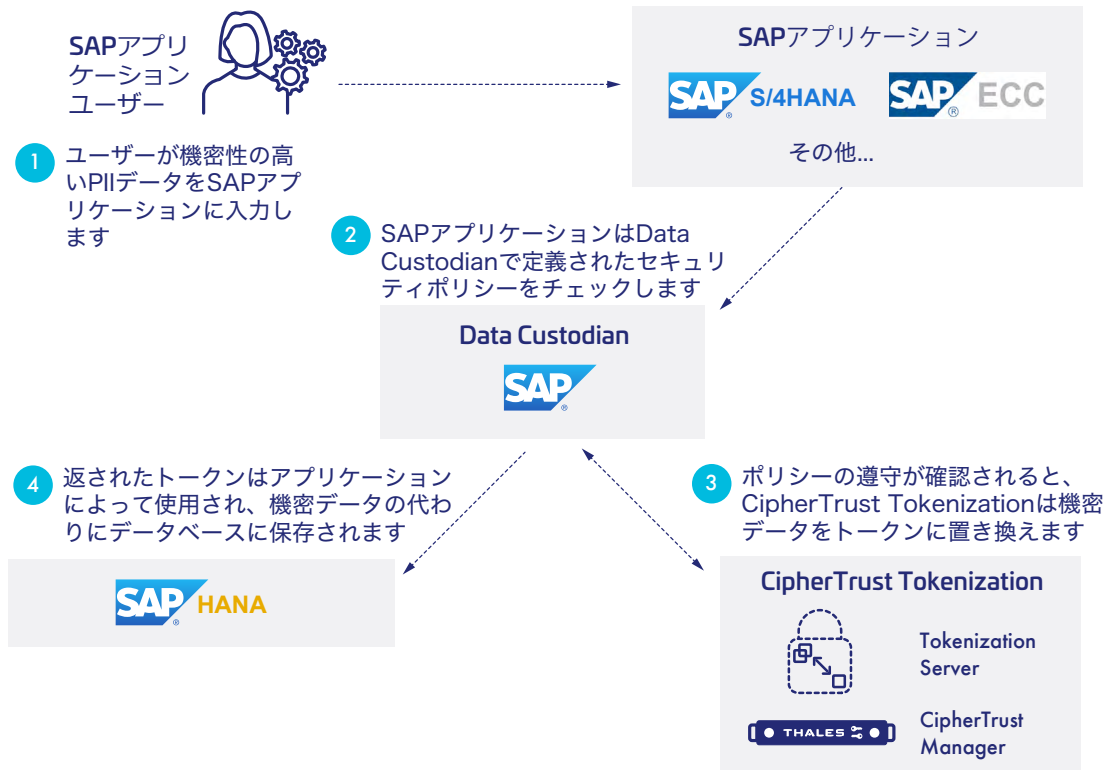
この現実、データの管理、保護、主権に新たな課題をもたらしています。企業内やパブリッククラウドとの間で、制御を維持しながら、このデータの流れを可能にするにはどうすればよいでしょうか。従業員のプライバシーを保護しながら、人事業務をクラウドに移行するにはどうすればよいでしょうか。PII (個人情報) を公開せずに開発者がデータベースにアクセスできるようにすることは可能でしょうか。増え続ける多様な部門全体の機密データのオーケストレーションを行いながら、規制やコンプライアンスの要件を満たすことは可能でしょうか。

また、データ侵害によるデータセキュリティへの脅威も増大し続けています。

組織における究極のセキュリティ保護はデータ侵害を防止することと言っても過言ではありません。データ侵害を報告している回答者の割合は比較的高く、世界全体で56%が、ある時点でセキュリティ侵害を経験したと答えています。そのうち41%は、過去12か月間に侵害を経験したと回答しています。

Co-Innovated with SAP®

SAP Data Custodian & Thales CipherTrust のポートフォリオ



ソリューション

タレスとSAPは共同イノベーションパートナーシップを確立し、SAPアプリケーション向けの統合データ保護ソリューションを提供しています。Thales CipherTrust Tokenizationは、SAP Data Custodianを介してSAPアプリケーションデータをセキュリティで保護するようになりました。

組織がデータをセキュリティで保護できるようになるのは、早ければ早いほど良いと言えます。アプリケーションレベルでデータをトークン化する場合、機密データは作成されるとすぐにランダムに生成された値(必要に応じて、同じ長さで形式の値)に置き換えられます。機密データの代わりに、トークンがデータベースに保存されます。これらのトークンには本質的な価値がないため、データベースには機密情報が保存されておらず、データセキュリティリスクが軽減され、多くの規制要件の対象範囲外になります。

SAPユーザーは、SAP Data Custodianを介して、特定のフィールドをトークン化し、機密データへのアクセスを許可するユーザーを決定するアクセスポリシーを割り当てることができます。人事、財務、法務などの特定の部門がすべて同じアプリケーションにアクセスできますが、それぞれ異なるアプリケーションフィールドを表示するアクセス権限が割り当てられています。許可されていないフィールドには、実際のデータの代わりにトークン値が表示されます。

主な機能とメリット

- CSP、外注請負業者、開発者、内部の特権アクセスユーザーから保護すべきデータをマスクすることで、Schrems IIに対応します。
- 機密データを数か月ではなく数日で本番環境に導入します。

- アクセス制御により、許可されたユーザーまたはアプリケーションのみがトークン化されたデータを表示できるようにします。
- Thales Luna HSMにより、鍵保護のためのFIPS 140-2規制要件の達成を支援する信頼の基点が提供されます。
- Tokenizationの統合により、Data Custodian環境内で拡大するSAPアプリケーションエコシステム全体のデータ保護が確保されます。





まとめ

SAP Data Managementソリューションは、ERP(エンタープライズリソースプランニング)、人事、財務など、多くの企業部門にわたる現代の企業の心臓部を提供します。これらのSAPアプリケーションが頻繁に保持する機密情報には、セキュリティ保護が必要です。SAP導入の重要性を考えると、SAPデータをセキュリティで保護するための最適なソリューションは、新たなソフトウェア開発を妨げることなく、プライバシーとコンプライアンスの課題を克服する必要があります。CipherTrust Tokenizationは、そのニーズにお応えします。

タレスについて

皆様がプライバシー保護を信頼して任せている相手は、そのデータを保護するためにタレスに頼っています。データセキュリティに関しては、組織が直面する決定的な局面は次々と増え続けています。その局面が暗号化戦略の策定、クラウドへの移行、コンプライアンス要件の順守のいずれであっても、デジタルトランスフォーメーションを保護するためにタレスに頼ることができます。

決断の瞬間のための、確実なテクノロジー。

> cpl.thalesgroup.com <    

お問い合わせ先 - cpl.jp.sales@thalesgroup.com すべてのオフィスの所在地と連絡先情報につきましては、cpl.thalesgroup.com/ja/contact-usをご覧ください。